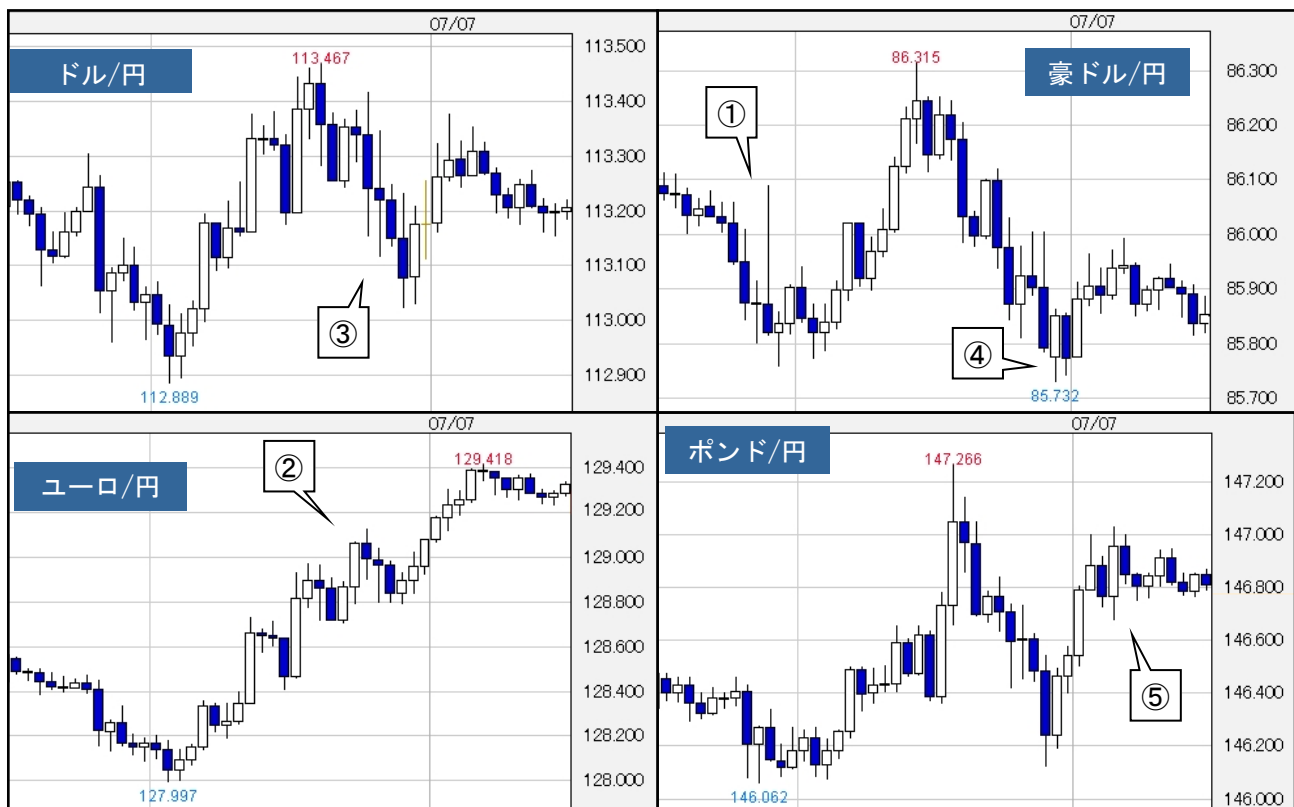


7月7日(金曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

日銀の姿勢が問われる

6日(木)の為替相場



期間：6日(木)午前6時10分～7日(金)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 豪5月貿易収支が24.71億豪ドルの黒字と予想(10.00億豪ドルの黒字)より強い結果となった。これを受けて豪ドルが買われた。
- ② 先月8日の欧州中銀(ECB)理事会議事録が公表され、「インフレ見通しが改善すれば緩和的なバイアスが見直される可能性」「緩和的バイアスの再検討を議論」などが明らかとなった。緩和縮小観測の高まりからユーロ買いが優勢となった。
- ③ 米6月ADP全国雇用者数が15.8万人増、米新規失業保険申請件数は24.8万件、米5月貿易収支は465.0億ドルの赤字と、いずれも予想(18.8万人増、24.3万件、463.0億ドルの赤字)より弱い結果となった。これらを受けてドルが売られるも、その後米6月ISM非製造業景況指数が予想(56.5)を上回る57.4となった事から下げ渋った。
- ④ 先進諸国の中央銀行がタカ派的な姿勢を強めていることを背景とした長期金利の上昇を嫌気して、NYダウ平均が軟調に推移。豪ドル/円は85.70円台まで下落。ただ、その後は米EIA週間原油在庫統計を受けてNY原油先物が一時的に46.50ドル台まで上昇した事から下げ渋った。
- ⑤ 英中銀(BOE)のマカファーティ金融政策委員会(MPC)委員が「インフレは急激に上昇」「最近のポンドの上昇は比較的小さい」などと発言。これを受けてポンド買いが優勢となった。

6日(木)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
19994.06 (▼87.57)	5758.763 (▼4.489)	3212.444 (△5.310)	7337.28 (▼30.32)	12381.25 (▼72.43)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21320.04 (▼158.13)	0.1040% (△0.0120)	2.640% (△0.010%)	1.316% (△0.056)	0.562% (△0.092)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3944% (▼0.0078)	2.3659% (△0.0427)	45.52 (△0.39)	1223.30 (△1.60)	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	112.300-114.200	128.300-130.300	85.000-86.700	145.800-147.900

【ドル/円】

本日は、米6月雇用統計が発表される。市場予想の中央値は、非農業部門雇用者数+17.8万人、失業率4.3%、平均時給前月比+0.3%、同前年比+2.6%となっている。米連邦準備制度理事会(FRB)内でも見方が分かっているインフレ見直しへの影響という観点からは、平均時給の伸びが注目される。この米6月雇用統計が本日のメインイベントである事は間違いないが、東京市場では日銀の動きがドル/円相場の変動要因になる可能性もある。昨日、本邦10年債利回りが一時2月以来の0.10%に上昇しており、10年債利回りの誘導目標を0.0%付近とする日銀の対応が注目されている。長期ゾーンの買入れ増額や指値オペなどで長期金利の上昇を容認しない姿勢を示せば、他の先進国の中銀が軒並みタカ派化したように見える中、日銀のハト派姿勢が際立つ事になり、円安が進みやすくなる。反対に、長期金利の上昇抑制に向けた姿勢が弱いと受け止められると円高に振れる可能性もある。日銀の金融調節(オペレーション)通知時刻(10:10、14:00)の前後は注意が必要だろう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/7(金)	15:00		(独) 5月鉱工業生産(前月比)	+0.8%	+0.2%
	17:30	○	(英) 5月鉱工業生産(前月比)	+0.2%	+0.4%
	17:30		(英) 5月製造業生産(前月比)	+0.2%	+0.5%
	17:30	○	(英) 5月貿易収支	-103.83億GBP	-108.50億GBP
	21:30	◎	(米) 6月非農業部門雇用者数	+13.8万人	+17.8万人
	21:30	◎	(米) 6月失業率	4.3%	4.3%
	21:30	◎	(米) 6月平均時給(前月比)	+0.2%	+0.3%
	21:30	◎	(米) 6月平均時給(前年比)	+2.5%	+2.6%
	24:00	○	(米) FRB、半期金融政策報告書を公表	—	—
	—		G20首脳会議(～8日)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。